

科目名	就職ガイダンス/就職活動講座		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B,C組 全専攻		授業形態 講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間 90 分	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動を進める上で必要な知識を修得する。				
6期	活動の幅を持って就職内定を勝ち取る為のスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス 就職活動状況について/就職活動計画の見直し			
2	4月23日	受験促進、労働条件について(賃金、時間)/自己PR、志望動機作成練習			
3	5月7日	面接のポイント①/面接対策実践①			
4	5月21日	OB講話 ※OB来校/応募書類について			
5	5月28日	企業講話 ※企業人事担当者来校 / メールを送り方、オンライン面接について			
6	6月4日	受験促進、企業情報の提供(各業種)/作文対策①			
7	6月11日	企業研修について/作文対策②			
8	6月18日	OB講話 ※OB来校/履歴書作成練習			
9	6月25日	受験促進、東京企業について/自己PR、志望動機作成練習			
10	7月2日	企業講話 ※企業人事担当者来校/就職活動計画の見直し			
11	8月20日	面接のポイント②/面接対策実践②			
12	8月27日	受験促進、企業情報の提供(各業種)/受験の流れ確認			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12回中5回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	時事研究			担当講師	齋藤 忠貞
講師実務経験	元放送局勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	<p>日常のニュースの詳細とその背景を考える。また、あらゆる分野について現状分析と問題点を理解し修得する。</p>				
6期					
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	ガイダンス。ニュースの分析。			
2	4月20日	感染症について考える。コロナの行方。			
3	4月27日	エネルギー政策①(原子力について)。			
4	5月11日	エネルギー政策②(CO2削減について)。			
5	5月18日	エネルギー政策③(新エネルギー)。			
6	5月25日	JASRAC(著作権問題)①			
7	6月1日	JASRAC(著作権問題)②			
8	6月8日	自然災害と対策①			
9	6月15日	自然災害と対策②			
10	6月22日	人口論と食料自給率①			
11	6月29日	人口論と食料自給率②			
12	7月6日	これまでのまとめ。試験対策。			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	電気工事士		担当講師	山田 茂雄	
講師実務経験	電気工事会社勤務（舞台照明・吊物設備 設計施工）				
対象学年	2 学年	対象専攻	2年ライティング専攻		授業形態 演習
期 間	5期・6期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
5 期	第二種電気工事士の資格取得を目標として電気基礎理論、材料工具、施工方法、保安に関する法令を取得する。(第二種電気工事士取得テキストより)				
6 期	配線図に基づき電氣的に正しく回路構成され、配線図通りに結線すること取得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月12日	電気工事の施工方法 配線工事の種類と適応			
2	4月19日	工事用材料、工具を覚える			
3	4月26日	一般配線、機器、照明器具、コンセントを覚える			
4	5月10日	屋内配線図の読み方を理解する			
5	5月17日	屋内配線図の読み方を理解する			
6	5月24日	検査方法、保安に関する法令を覚える			
7	5月31日	ケーブル、電線の基本作業と欠陥	電線の被覆剥ぎ取り実習		
8	6月7日	ケーブル、電線の基本作業と欠陥	電線の被覆剥ぎ取り実習		
9	6月14日	機器接続の基本作業と欠陥	リングスリーブ、差込みコネクタ接続実習		
10	6月21日	機器接続の基本作業と欠陥	ランプレクタブル、露出コンセント接続実習		
11	6月28日	配線図を見て配線工事を完成させる。二人1グループ	技能試験(過去問題実習)		
12	7月5日	配線図を見て配線工事を完成させる。二人1グループ	技能試験(過去問題実習)		
13	8月23日	配線図を見て配線工事を完成させる。二人1グループ	技能試験(過去問題実習)		
14	8月30日	配線図を見て配線工事を完成させる。二人1グループ	技能試験(過去問題実習)		
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価				
	平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽Ⅱ		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
講義					
期 間	5期・6期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	
90 分					
期	修 得 目 標				
5期	楽曲を聞き拍子を理解し進行記号を用いて譜割ができる力を習得する。				
6期	譜割した譜面を音楽物の照明オペレートに活用できる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月12日	授業ガイダンス、小節(縦線、複縦線、終止線)・拍子・の復習			
2	4月19日	譜割の手順について			
3	4月26日	譜割の練習曲 4/4			
4	5月10日	4/4 譜割テスト・課題曲。			
5	5月17日	テスト返却。 4/4 課題曲 解答・解説。			
6	5月24日	譜割の練習曲 3/4			
7	5月31日	3/4 譜割テスト・課題曲。			
8	6月7日	テスト返却。 3/4 課題曲 解答・解説。			
9	6月14日	譜割の練習曲 6/8			
10	6月21日	6/8 譜割テスト・課題曲。			
11	6月28日	テスト返却。 6/8 課題曲 解答・解説。			
12	7月5日	好きな楽曲の譜割①			
13	8月23日	好きな楽曲の譜割②			
14	8月30日	試験対策			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	28 時間中 10 時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	音響基礎 I		担当講師	田上 涼	
講師実務経験	ライブハウス勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
講義					
期 間	5期・6期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	
45 分					
期	修 得 目 標				
5期	PAの仕事内容と基礎知識を修得する				
6期	PAの応用知識を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月12日	オリエンテーション			
2	4月19日	音発生の仕組み、音の特性、定位について			
3	4月26日	PA機材における信号の流れについて			
4	5月10日	マイクロフォンについて			
5	5月17日	スピーカーシステムについて			
6	5月24日	マイクスタンドについて			
7	5月31日	ミキシングコンソールについて			
8	6月7日	周波数について			
9	6月14日	環境調整(チューニング)作業について			
10	6月21日	音響ケーブルの仕組みについて			
11	6月28日	復習、まとめ			
12	7月5日	音源再生とフェーダー操作について			
13	8月23日	台本に沿ったオペレート			
14	8月30日	試験対策			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	14時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	舞台照明Ⅲ		担当講師	笹出 将太	
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	20 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
5期	実際の現場に必要な知識や技術を修得する。				
6期	自主性を高め、応用力と適時適切な判断力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス。コミュニケーションの重要性について			
2	4月20日	実践的な時間を意識した動き方について			
3	4月27日	新入生歓迎ライブ仕込み			
4	5月11日	新入生歓迎ライブ打ち込み、チェック			
5	5月18日	少数での実践的な仕込み			
6	5月25日	ライブ実習準備、ライブ実習①			
	5月27日				
7	6月1日	ライブ実習準備、ライブ実習②			
	6月3日				
8	6月8日	ライブ実習準備、ライブ実習③			
	6月10日				
9	6月15日	ライブ実習準備、ライブ実習④			
	6月17日				
10	6月22日	ライブ実習準備、ライブ実習⑤			
	6月24日				
11	6月29日	ライブ実習準備、ライブ実習⑥			
	7月1日				
12	7月6日	ホール以外での仕込みや準備について			
13	8月24日	実技試験対策			
14	8月31日	実技試験、試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	20回中7回の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	CAD実習Ⅱ		担当講師	佐藤 直子	
講師実務経験	建築士.インテリアコーディネーター				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	基本操作+応用ツール .立体を理解し3Dび操作 図面の種類と必要性について理解する				
6期	図面の種類と必要性について理解する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス.(質疑.希望等含む) ※ブラインド製作復習			
2	4月21日	図形製作(建具等)レイヤー確認..操作手順.確認含む課題			
3	4月28日	課題 グリッド.壁ツールを使用した間取り製作.他データから取り込み作業等			
4	5月19日	課題 グリッド.壁ツールを使用した間取り製作.他データから取り込み作業等			
5	5月26日	間取り製作(課題+仕上作業)使用ツールの範囲拡大			
6	6月2日	3Dについて 図面の種類を理解⇒3D製作課題			
7	6月9日	3Dについて 図面の種類を理解⇒3D製作課題			
8	6月16日	平面.展開.立面含む企画書製作について 課題			
9	6月23日	平面.展開.立面含む企画書製作について 課題			
10	6月30日	平面.展開.立面含む企画書製作について 課題			
11	8月18日	平面.展開.立面含む企画書製作について 課題			
12	8月25日	まとめ、これまでのおさらい。			
評価方法	実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	TV照明 II		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期					
5期	音楽番組や中継番組の照明プランニングについて修得する。				
6期	会館・ホールやドーム・中継設備などを研修する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス。照明の仕事について			
2	4月21日	音楽番組の実際の作品(DVDなど)を見てプランニングを考える			
3	4月28日	音楽番組などのプランで、夕陽・夕焼けなどを描く手法について			
4	5月19日	音楽番組やドラマなどのプランで、水鏡を出す手法について			
5	5月26日	音楽番組などのプランで、ヘロ、メラのタッチをホリに描く手法について			
6	6月2日	音楽番組などのプランで、様々な影をフロアーに描く手法について			
7	6月9日	音楽番組などのプランで、動きのある影やタッチなどを描く手法について			
8	6月16日	音楽番組などのプランで、炎などを描く手法について			
9	6月23日	ゴルフやジャンプ中継など、外景を生かした番組のプランニング・技法について			
10	6月30日	舞台・ホールの設備などの研修			
11	8月18日	ドーム、中継設備などの研修			
12	8月25日	5期6期の総括および試験対策			
評価方法	B評価 定期試験点数(30%)、実技(70%) 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	舞台概論Ⅲ		担当講師	笹出 将太	
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	コンソールの知識と技術を修得する。				
6期	デジタル機材の基本概要、構造を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス。新歓ライブ体制決定			
2	4月22日	AVOLITE Titanシリーズについて			
3	5月6日	新歓ライブ各セッション打ち合わせ			
4	5月20日	新入生歓迎ライブ反省会～打ち合わせの重要性について			
5	8月19日	ムービングライトのアトリビュートについて			
6	8月26日	試験対策			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	6回中3回の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	システム構築 I		担当講師	笹出 将太	
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
講義					
期 間	5期・6期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	
90 分					
期	修 得 目 標				
5期	ネットワークの基礎知識を修得する。				
6期	通信の基礎を理解し修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス。ネットワーク用語について			
2	4月22日	周辺機器について①			
3	5月6日	周辺機器について②、カテゴリーについて			
4	5月20日	IPアドレス、サブネットマスクについて			
5	8月19日	通信規格、各プロトコルについて			
6	8月26日	復習、試験対策			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	6回中3回の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明プランニング I	担当講師	笹出 将太
講師実務経験	照明音響会社勤務		
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回
			1回あたりの授業時間
			90 分
期	修 得 目 標		
5期	様々なイベント、他セクションの動きを学び、照明の仕事を理解、習得する。		
6期	実践的な照明プランニングを修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月16日	授業ガイダンス。クラシックについて～クラシックコンサートプランニング	
2	4月23日	イベントに対するテクニカルチームの動き(音楽、式典、テレビ、イベント、企業、国事)	
3	5月7日	歓迎ライブ、映像カット割りを考える	
4	5月21日	歓迎ライブプラン総評	
5	5月28日	イベントに対して照明を考える①(スポーツ、eスポーツ)	
6	6月4日	イベントに対して照明を考える②(ファッションショー、ヘアショー)	
7	6月11日	イベントに対して照明を考える③(企業イベント、新商品説明会)	
8	6月18日	イベントに対して照明を考える④(野外イベント春夏秋-制限なし)	
9	6月25日	イベントに対して照明を考える⑤(野外イベント冬)	
10	7月10日	イベントに対して照明を考える⑥(式典、国事)	
11	8月20日	定期公演プラン作成	
12	8月27日	試験対策	
評価方法	B評価 定期試験点数(50%)、実技(50%) 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	12回中4回の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)		